



神戸陽子線センター

2024年6月より切除不能な早期肺がんに対する陽子線治療が保険適応となりました

<保険適応となる具体的な状態について>

切除不能な臨床病期I-IIAの肺がんが保険適応となりました。具体的には、リンパ節転移・遠隔転移のない最大径5cm以下の肺がんが対象となります。

保険適応詳細については陽子線治療を行っている施設で必要な検査結果を評価し決定する必要があります。陽子線治療を希望される場合は、かかりつけ医療機関の担当医師へ当センター紹介をご依頼ください。

<治療方法がなくお困りの方へ>

手術の対象外となる理由は様々ですが、その一因に間質性肺炎、重症心不全などの基礎疾患、高齢などがあります。X線治療（一般的な放射線治療）についても基礎疾患に間質性肺炎があると治療対象外となることが多いです。上記のように手術やX線治療対象外となった場合も、陽子線治療であれば治療の適応となることがございます。お困りの場合は、是非当センターへご相談ください。

<保険適応外の肺がんについて>

肺がんでは保険適応となるのは早期がんのみですが、当センターでは局所進行肺がんに対しては先進医療として陽子線治療を行っております。局所進行肺がんについても治療希望があれば、当センターへご相談いただければ幸いです。

肺がん以外にも様々な悪性腫瘍に対して保険適応拡大に向けて全国の粒子線施設と連携して取り組んでまいります。保険適応が拡大された際は当センターホームページ上で掲載していきますのでどうぞご覧ください。

基本理念

科学的根拠に基づき、がん医療の未来を拓く
陽子線治療を推進します。

基本方針

- 最先端の陽子線治療施設として高精度の放射線治療を提供します。
- がん医療の進展を反映した陽子線治療を行います。
- 小児がんに重点を置いた陽子線治療を提供します。
- 患者さんの意思を尊重し、正確な医療情報に基づいた信頼される医療を行います。
- チーム医療を基本として、温かい医療を推進します。

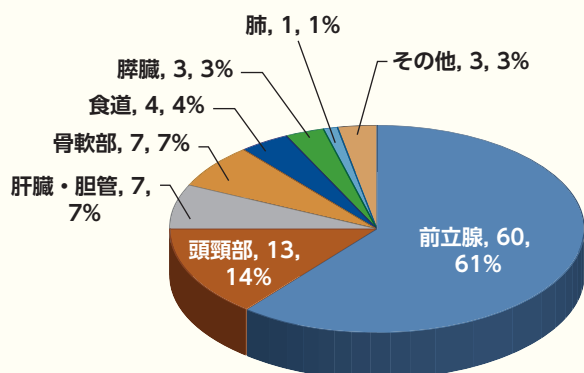


兵庫県立粒子線医療センター附属

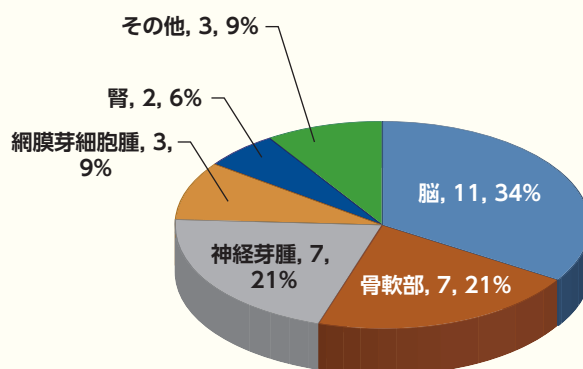
神戸陽子線センター
Kobe Proton Center

令和5年度下半期の治療実績について

1.成人 (計98例)



2.小児 (計33例)



施設見学会を実施しました

2024年7月31日（水）兵庫県立こども病院の新規採用者の方々を対象に神戸陽子線センターの施設見学会を実施しました。隣接する兵庫県立こども病院とは渡り廊下でつながっており入院しながら治療を行うことができます。施設見学会は毎年、この時期に神戸陽子線センターへの理解をより深めてもらえるように開催しています。今後も連携を図り、安心・安全な医療を提供してまいります。



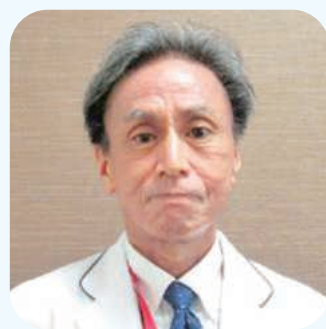
照射室や普段は見ることのできない粒子加速器装置の見学をしました。

*毎週金曜日、一般の方々へも施設見学を実施しております。

ごあいさつ

神戸陽子線センター長

徳丸 直郎



令和6年4月1日付けで神戸陽子線センターのセンター長を拝命しました、徳丸 直郎（とくまる すなお）と申します。

神戸陽子線センターは、日本で初めて小児がんに重点を置いた陽子線治療施設として2017年12月に開設されました。小児がんの治療実績は設立初年度から全国トップレベルで、現在も日本全国から多くの患者さんが治療に来られています。

小児がんは、治療成績の向上に伴って長期生存者の晩期合併症が問題になっています。陽子線治療は放射線治療後の晩期合併症を減らせる可能性があるとして、小児がん非常に期待されている治療法のひとつとなっています。

当センターは「あなたらしさを大切に 通いでできるがん治療」を合い言葉に、神戸の交通の便を活かして成人の治療も積極的に行っており、働きながら・学校に通いながら、がん治療をされている方も多くおられます。また、ポートアイランド内の多くの医療機関と密に連携を取りながら高度な医療を行っています。

条件を満たせば保険適用となる肝細胞がん、肝内胆管がん、膵臓がん、前立腺がん、骨軟部腫瘍、頭頸部がんの治療実績数も多くあります。保険適用についてはこれからもまだまだ見直され、令和6年6月1日より早期肺がんが保険適用となることが決まっております。疾患自体がまだ保険適用外で先進医療として行われる食道癌等や、条件を満たさず先進医療として行われる上記疾患等においても、近隣の施設と連携を取り化学療法などを併用してよりよい陽子線治療を提供しております。

また、当センターは従来の粒子線治療法(ブロードビーム照射といいます)だけでなく、スキヤニング照射という最新の粒子線治療法にも対応しています。

私は幼年時喘息等で長期入院していたことがあり、病院で仲良くなった友人が、がんのために会えなくなるという経験をしました。学生時代にしていたラグビーや水泳では、discipline(規律)をもって努力すれば、記録の壁が越えられることや、難しい相手にも対等以上に戦えることを経験しました。

陽子線という武器をfullに活かし、がんという難敵に向かってスタッフ一同、誠実に尽力して参ります。今後とも当センターをよろしくお願い申し上げます。

Information



神戸陽子線センターマスコットキャラクター
Pro とん
です！
よろしくね♪

神戸市立中央市民病院・専攻医の短期研修を受け入れています！

2024年7月から3ヶ月間の予定で、神戸市立医療センター中央市民病院(以下、中央市民病院)から放射線治療科専攻医の研修を受け入れています。

中央市民病院は兵庫県下有数の総合病院であり、放射線治療科も医師8名を有し、年間600件以上の治療をしているレベルの高い施設です。しかし、X線治療(一般的な放射線治療)のみですので、陽子線治療を学びたいという若手医師の要望があり、数年前から受け入れています。

当初は週1日×6ヶ月というスタイルでしたが、なかなか主体的に取り組むことが難しいため、昨年からは毎日×3ヶ月に変更したところ、多くの患者さんを主治医として担当することができ、また、吸収性スプレーに関する臨床研究も行うことができました。

今年の先生も、診察・治療・麻酔の現場見学、各種カンファレンスへの参加、陽子線治療計画に関するディスカッションなどを通じて、多くのことを学んでいます。また、患者さんを主治医として担当し、陽子線治療の臨床経験を深めて行っています。さらに、小児脳腫瘍に関する臨床研究も行っています。

今後も当センターは、若手医師の研修を積極的に受け入れていきたいと思っています。ご興味のある方は、当センターまでお問い合わせください。



専攻医の先生(前列中央)と神戸陽子線センター医師

センターの情報は SNS で！

「陽子線治療」を日本で受けられるのは20施設です。多くの方に「陽子線治療」について知ってもらうことを目的に様々な情報をSNSにアップしています。「陽子線治療」に関すること・当センターに関することなどを展開しておりますのでお持ちのアカウントで是非アクセスしていただくと幸いです



Facebook



Instagram



X



YouTube

※QRを読み取り後にリンクをクリック、または各アカウントで「神戸陽子線」を検索



<成人用治療室>



<小児用治療室>

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



兵庫県立粒子線医療センター附属

神戸陽子線センター

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目6番8号
TEL.078-335-8001 (代表) FAX.078-335-8006
<https://www.kobe-pc.jp/>



兵庫県立粒子線医療センター

<https://www.hibmc.shingu.hyogo.jp/>

